



あゆみ



令和6年度 和光幼稚園「園だより」

体験活動

和光幼稚園の園児に、SAGA2024 国スポの大会に関わって、田植え、そして収穫、また、国スポ応援ののぼり旗の作成、それから、かかしづくりの制作のお話をいただいています。園児たちにとって、願ってもないいろいろな体験の機会をいただいたことは、たいへん幸運なことだと、50年に一度という歴史的な機会に感謝しています。

5月に吉田で田植えをして、秋には収穫もさせていただいて、その米でできたおにぎりでもてなすをいう企画の一環です。全員が初めて田植えをして、土の感触に浸っていました。驚いたことに子ども達は植えていく列ごとに、上手に早くできるようになりました。何事も一歩一歩の経験だなと改めて思いました。



現代は、ユーチューブ、バーチャルゲーム、AI、シミュレーションなどによる「間接体験」や「疑似体験」が圧倒的に多くなりました。これは、子ども達に負の体験を及ぼしているということが懸念されています。これからの教育において重要視しなければならないのが、ヒトやモノ、実社会に実際に触れる「直接体験」です。

体験活動については、戦後の学習指導要領の改定の度に、その重要性が唱えられ、充実・拡大されてきました。学校行事を中心に自然体験やボランティア体験・社会奉仕活動の充実が示されてきました。特に人間関係をうまく作れない、集団生活に適應できない子どもの増加やいじめの陰湿化に代表される規範意識の低下、物事に意欲的に、創造的に取り組む意識の低下も挙げられています。

体験活動に関わって、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では次のような内容が示されています。

①自然や地域社会と深くかかわる機会をもつ

自然の中で伸び伸びと体を動かして遊び、五感を持って身体全体で対象に働きかけ、関わっていく。また、高齢者をはじめ地域に住む人々と交流する経験によって、共存の精神、自他ともに大切にすることを学んでいくようにすること。

②集団活動の充実

集団内での様々な人間関係の摩擦や集団を維持していくために自らを律する精神などを学ぶ。園児が自己を発揮する中で、互いに思いを主張し、折り合いをつける体験をし、きまりの必要性などに気づき、自分の気持ちを調整する力が育つようにすること。

③豊かな感性

身近な環境と十分に関わる中で美しいもの、優れたもの、心を動かす出来事などに会い、そこから得た感動を様々な表現することなどを通して養われるようにすること。

また、文部科学省の調査結果によりますと、「自然体験の多い子どもの中には、道徳観・正義感のある子どもが多い」「自然に触れる体験をしたあと、勉強に対してやる気が出る子どもが増える」ということが報告されています。



藤津鹿島地区幼稚園対抗 PTA ミニバレーボール大会が今年も開催されます。

事前に参加希望者を募りますので、ぜひ保護者さんの参加をお待ちしています。

★大会 11月4日(祝) 午前中 嬉野市内で開催 (事前に練習を2回ほど予定)

8月の行事予定

1日（木）誕生会
2日（金）避難訓練
21日（水）お弁当の日

* 9月の行事予定 *

12日（木）祖父母参観日
20日（金）お泊り保育（年長）

※行事等で質問などありましたら、お気軽にお尋ねください



お知らせ

- ◆ 9月12日に祖父母参観を予定しています。おじいちゃん・おばあちゃん限定の参観日となります。ぜひ祖父母の方にお声掛け下さい。詳細は後日お知らせします。
- ◆ この時期特有の感染症が流行しています。幼稚園でも気になる事がありましたら早めに連絡しますので、受診や検査をお願いします。
- ◆ 子どもも大人も、夏の疲れがでていませんか？エアコンの効きすぎ、冷たいものの食べ過ぎ…何かと、疲れやすい時期だと思います。睡眠と食事はしっかりとりましょう。熱中症警戒アラートが発令されたときは、園でも外遊びを制限します。